

神海丸だより

令和元年9月26日

第1号

令和元年度第1次マグロ漁業実習が始まりました。日本の季節は秋に向かって気温は日毎に寒くなってきていますが、ハワイ沖に向かって航海中の神海丸は夏が続いております。隠岐を出港して2週間経ち生徒は船酔いを克服し、毎日、操業の準備作業を頑張っております。

西郷出港式

9月12日14:30 隠岐水産高等学校2年海洋システム科生徒30名、専攻科生11名を乗せた神海丸は西郷港を出港しました。65日間に及ぶマグロ漁業実習の始まりです。出港式では2年海洋システム科M君が代表挨拶で「熱・意気・団結の精神をもって頑張り、11月には成長して帰ってきます。」と決意を述べました。



浜田出港

9月13日浜田に入港し、浜田水産高等学校専攻科8名が乗船しました。入港中には、食料、餌、燃料の積込を乗組員、生徒が一緒になって作業しました。また、操練（緊急時の退船訓練）を行い、救命筏の配置や乗組員各担当者の非常持ち出し物品について説明を受け、非常事態に備える訓練を行いました。



関門海峡航路学習

本州と九州の間にある関門海峡を通過する際、生徒は航路について学習しました。



三崎出港

国内最後の寄港地である神奈川県三崎港を9月20日14:00に出港しました。本来は21日の出港予定でしたが、台風の影響で1日早く出港することになりました。自然を相手にする船の仕事の厳しさを直接感じる出来事でした。



船内生活

三崎を出港した神海丸は、コースを東に向け風の中を航海しています。間もなく始まるマグロ操業に向けて毎日準備作業をしています。生徒は、航海当直、食当、漁具作業と毎日分担して実習を行っています。初めての作業、船内生活に戸惑いながらも頑張っています。

